

議題事項

運転免許の臨時適性検査等の実施に係る医師の退任に伴い、公安委員会が専門的な知識を有すると認める医師を新たに認定するもの

1 趣旨

運転免許の臨時適性検査等は、道路交通法施行規則に基づき、専門的な知識を有すると公安委員会が認める医師（以下「認定医」という。）の診断により行うこととされている。

2 新たに認定する医師（案）

新たな認定医の候補者

内科医師（女性・30歳代）

3 専門医の認定状況

診療科目ごとに、57人の専門医を認定

診療科目	人数	診療科目	人数
内科	25	外科	1
小児科	1	整形外科	2
心療内科	1	精神科	13
神経内科	7	眼科	2
脳神経外科	2	耳鼻咽喉科	3

4 根拠規定

- (1) 道路交通法施行規則第18条の4第1項
- (2) 道路交通法施行規則第29条の3第2項
- (3) 道路交通法施行規則第29条の5第1項

5 その他

- (1) 退任する認定医

内科医師（男性・40歳代）

- (2) 認定医の氏名等の公示

道路交通法施行細則に基づき、新たに認定する医師の氏名等及び既認定医の所属病院の変更について公示を行う。

**報告事項**

街頭防犯カメラシステムの運用に関する規程に基づき、令和3年上半期におけるデータの活用状況等について報告する。

**1 対象期間**

令和3年1月1日から令和3年6月30日までの間

**2 活用状況及び活用結果**

区分	種別	合計	データ検索、提供等目的に係る主な罪種等			
			高松北警察署		丸亀警察署	
活用 状況	検索	45件	粗暴犯 5件 窃盗犯 3件 その他刑法犯 3件 特別法犯 1件 交通法令関係 8件	20件	凶悪犯 1件 粗暴犯 2件 窃盗犯 1件 その他刑法犯 5件 特別法犯 1件 交通法令関係 15件	25件
	提供	18件	粗暴犯 2件 窃盗犯 2件 その他刑法犯 1件 交通法令関係 4件	9件	特別法犯 1件 交通法令関係 8件	9件
活用 結果	検挙	2件	粗暴犯 2件	2件		0件
	事後 捜査	40件	粗暴犯 2件 窃盗犯 3件 その他刑法犯 3件 特別法犯 1件 交通法令関係 6件	15件	凶悪犯 1件 粗暴犯 2件 窃盗犯 1件 その他刑法犯 5件 特別法犯 1件 交通法令関係 15件	25件

※ 検 索：記録された画像データを専用モニターで検索すること  
 提 供：記録された画像データを他の媒体に複製の上、提供すること  
 検 挙：被害申告後、映像確認を基に検挙したもの  
 事後捜査：検挙後、裏付け捜査で映像確認したもの等

**3 主な検挙事例**

高松市古馬場町付近で発生した傷害被疑事件につき、現場付近設置の防犯カメラ映像から被疑者を特定し、検挙した。

**4 効果検証（街頭防犯カメラ設置前との刑法犯認知件数比較）**

地区名	H26.1～H26.6	R3.1～R3.6	増減数（増減率）
高松市古馬場町地区	83件	45件	-38件（-45.8%）
丸亀市大手町地区	32件	10件	-22件（-68.8%）
合 計	115件	55件	-60件（-52.2%）

報告事項

令和3年上半期の刑法犯認知件数は1,908件（前年同期比-488件）、検挙件数は1,130件（同-83件）、検挙率は59.2%（同+8.6ポイント）で、前年同期より、認知件数及び検挙件数はそれぞれ減少し、検挙率は上昇した。

1 令和3年上半期の刑法犯の認知・検挙状況等

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

包括罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			(うち)少年		
		増減	%		増減	%	増減	(ポイント)		増減	%		増減	%
総数	1,908	-488	-20.4	1,130	-83	-6.8	59.2	8.6	708	-50	-6.6	44	-18	-29.0
凶悪犯	19	-4	-17.4	17	-3	-15.0	89.5	2.5	12	-6	-33.3	1	-1	-50.0
粗暴犯	192	-2	-1.0	162	-34	-17.3	84.4	-16.6	176	-36	-17	10	-10	-50.0
窃盗犯	1,157	-393	-25.4	659	-31	-4.5	57.0	12.5	331	-29	-8.1	20	-10	-33.3
侵入盗	101	-91	-47.4	128	36	39.1	126.7	78.8	23	1	4.5	3	1	50.0
乗物盗	313	-117	-27.2	31	-1	-3.1	9.9	2.5	16	-2	-11.1	6	1	20.0
非侵入盗	743	-185	-19.9	500	-66	-11.7	67.3	6.3	292	-28	-8.8	11	-12	-52.2
知能犯	142	-24	-14.5	104	-9	-8.0	73.2	5.1	42	-6	-12.5	1	-2	-66.7
風俗犯	26	-6	-18.8	21	-3	-12.5	80.8	5.8	14	-2	-12.5	5	2	66.7
その他	372	-59	-13.7	167	-3	-1.8	44.9	5.5	133	29	27.9	7	3	75.0

(2) 重要犯罪の認知・検挙状況

罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			(うち)少年		
		増減	%		増減	%	増減	(ポイント)		増減	%		増減	%
総数	34	-10	-27.7	28	-12	-30.0	82.4	-8.5	20	-10	-33.3	4	-1	-20.0
殺人	1				-1	-100.0		-100.0		-1	-100.0			
強盗	1	-5	-83.3		-5	-100.0		-83.3		-3	-100.0			
放火	7	1	16.7	6			85.7	-14.3	4	-2	-33.3		-1	-100.0
強制性交等	10			11	3	37.5	110.0	30.0	8			1		
略取誘拐・人身売買	1	-2	-66.7	1	-2	-66.7	100.0		2					
強制わいせつ	14	-4	-22.2	10	-7	-41.2	71.4	-23.0	6	-4	-40.0	3		

(3) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

手口等	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			(うち)少年		
		増減	%		増減	%	増減	(ポイント)		増減	%		増減	%
総数	105	-95	-47.5	132	34	34.7	125.7	76.7	25	2	8.7	3	1	50.0
侵入盗	101	-91	-47.4	128	36	39.1	126.7	78.8	23	1	4.5	3	1	50.0
住宅対象	34	-52	-60.5	54	-12	-18.2	158.8	82.1	7	-2	-22.2	1		
住宅対象以外	67	-39	-36.8	74	48	184.6	110.4	85.9	16	3	23.1	2	1	100.0
自動車盗	3	-1	-25.0	4	2	100.0	133.3	83.3	2	2				
ひったくり		-2	-100.0		-3	-100.0		-150.0		-1	-100.0			
すり	1	-1	-50.0		-1	-100.0		-50.0						

2 下半期に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 重要犯罪等発生時の迅速な初動捜査体制の確立及び現場鑑識活動の徹底
- イ 盗品捜査、的割り捜査、捜査支援分析等基本捜査の徹底
- ウ DNA型鑑定等の科学捜査や捜査支援分析の徹底
- エ 広域・連続的に発生する犯罪の早期検挙及び組織的犯罪の検挙

(2) 抑止対策

- ア 的確な犯罪情勢分析に基づく効果的な犯罪抑止対策の推進
- イ 地域住民等に対する適時適切な情報提供の推進
- ウ 防犯CSR活動の普及促進等による持続可能な自主防犯活動に対する支援
- エ 自治体等に対する防犯カメラの設置促進等による防犯環境の整備
- オ 「非行少年を生まない社会づくり」の一層の推進

**報告事項**

令和3年上半期の特殊詐欺については、認知件数17件（前年同期比-14件）、被害総額約5,393万円（同約466万円増）と、認知件数が大幅に減少した一方で被害総額は増加した。

1 認知状況

特殊詐欺手口	令和3年6月末				令和2年6月末				増減			
	認知			被害額	認知			被害額	認知			被害額
	既遂	未遂	計		既遂	未遂	計		既遂	未遂	計	
オレオレ詐欺	0	0	0	0	1	1	2	1,000,000	-1	-1	-2	-1,000,000
預貯金詐欺	2	0	2	3,350,000	15	0	15	33,764,000	-13	0	-13	-30,414,000
架空料金請求詐欺	10	0	10	45,234,210	10	0	10	13,474,834	0	0	0	31,759,376
還付金詐欺	3	0	3	3,714,461	0	0	0	0	3	0	3	3,714,461
融資保証金詐欺	1	0	1	432,000	1	0	1	18,000	0	0	0	414,000
金融商品詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ギャンブル詐欺	0	0	0	0	2	0	2	981,000	-2	0	-2	-981,000
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	1	0	1	33,000	-1	0	-1	-33,000
キャッシュカード詐欺盗	1	0	1	1,203,000	0	0	0	0	1	0	1	1,203,000
<b>合計</b>	<b>17</b>	<b>0</b>	<b>17</b>	<b>53,933,671</b>	<b>30</b>	<b>1</b>	<b>31</b>	<b>49,270,834</b>	<b>-13</b>	<b>-1</b>	<b>-14</b>	<b>4,662,837</b>

2 被害の特徴

- (1) 手口 ～ 架空料金請求詐欺が全体の58.8%（10件）を占める。
- (2) 被害額 ～ 架空料金請求詐欺の被害額が全体の83.9%（約4,523万円）を占める。
- (3) 交付形態 ～ 振込型が全体の47.1%（8件）を占める。
- (4) 年齢 ～ 高齢者が全体の52.9%（9人）を占める。
- (5) 性別 ～ 女性が76.5%（13人）、男性が23.5%（4人）である。

3 検挙状況

- (1) 特殊詐欺 ～ 7件3人（前年同期比-1件、±0人）
- (2) 助長犯罪 ～ 17件5人（前年同期比-12件、-9人）

4 被害阻止状況

阻止件数28件、阻止金額約233万円、阻止率62.2%（前年同期比+11.4ポイント）

5 「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 「だまされた振り作戦」と職務質問等の積極的実施による現場検挙
- イ 犯行拠点の摘発及び中枢幹部の検挙に向けた突き上げ捜査の徹底
- ウ 他都道府県警察との合・共同捜査等の積極的推進
- エ 犯行ツール対策の強化

(2) 抑止対策

- ア 広報啓発の更なる推進
  - ヨイチメール、ツイッター等を活用したタイムリーな情報発信
  - 特殊詐欺被害防止コールセンター事業等による効果的な広報啓発の推進
  - 「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆作戦～」の推進
- イ 振り込め詐欺撃退装置普及促進事業等による防犯環境対策の推進
  - 振り込め詐欺撃退装置の更なる普及促進
- ウ 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の一層の推進
  - 金融機関、コンビニエンスストア等との連携による声掛け・通報等の徹底
  - 産学官が一体となった抑止対策の推進